

漁海況月報

平成 18 年 4 月 1 日

No. 4

～4月31日

静岡県水産試験場
(電話 054-627-1815)
静岡県水産試験場伊豆分場
(電話 0558-22-0835)

した。前月、伊豆諸島付近にあった小蛇行が八丈島の東側に移動した。

後半には、四国沖の離岸変動が潮岬を通過したため、九州から潮岬にかけて接岸傾向で流れた。その後、遠州灘沖 33～33.5°N を東進し、三宅島と八丈島の間を通り、房総沖を離岸傾向で流れた。前半の小蛇行が縮小して房総沖に移動し、伊豆諸島海域では大きく接岸した。

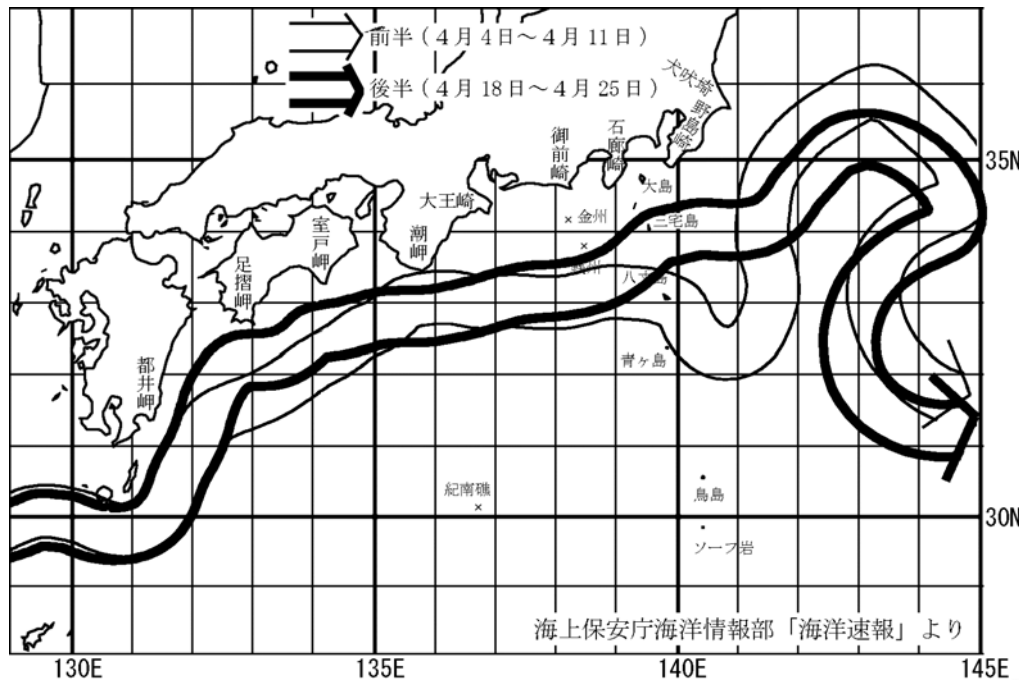
【県下沿岸域】

県下の定地水温は、相模湾側では 13～15 台、駿河湾東部では 13～18 台、駿河湾西部では 11～17 台で経過し、平年に比べ相模湾側では下旬を中心に低め、駿河湾側では全般に低めで、特に駿河湾東部では中旬まで 2 以上低めとなった。下旬後半には駿河湾東部に暖水が波及し、同海域では 3～4 昇温して 17～18 台となり平年並み～やや高めとなった。

【竿釣近海カツオ】

4月の県内主要5港（沼津、清水、焼津、小川、御前崎）における近海カツオの水揚量は 114 トンで前年同期の 18% であった。魚価は 568 円/kg で、前年同期を上回った。

静岡県船は 31°30'～33°20'N, 139°30'～141°E 付近で、キメジ、極小カツオ、小キハダ、小、中、チン、大、特大カツオ、ピンナガを漁獲した。



2006年4月
定地水温の旬平均値() (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上旬	14.2	14.7	14.4	13.8	14.7	14.2	12.1
	-0.4	-0.2	-0.6	-2.2	-1.4	-0.9	-2.2
中旬	14.3	15.0	14.7	14.4	15.0	14.7	13.3
	-1.0	-0.5	-0.8	-2.1	-1.6	-1.1	-2.0
下旬	15.0	15.3	14.7	15.9	15.8	15.2	13.9
	-1.2	-0.6	-1.4	-1.3	-1.5	-1.5	-2.5
月平均	14.5	15.0	14.6	14.7	15.2	14.7	13.1
	-0.9	-0.4	-1.0	-1.9	-1.6	-1.2	-2.2

【黒潮流路】

前半、九州東岸を接岸傾向、四国沖をやや離岸傾向で流れた。その後、潮岬沖にかなり接近し、遠州灘沖の 33°N を東進、八丈島の東側で小蛇行し、141.5°E を北上、145°E 付近で再び大きく蛇行

竿釣近海カツオ水揚量 (県内主要5港)

期間	水揚量(トン)	水揚隻数	水揚/隻(トン)	平均単価(円/kg)
18年4月上旬	3	4	0.8	1083
中旬	51	11	4.6	599
下旬	60	14	4.3	515
18年4月計	114	29	3.9	568
17年4月計	632	79	8.0	330
16年4月計	621	124	5.0	557

【定量網】

平成 18 年 4 月、伊豆半島東岸大型定置網 8ヶ統（伊豆山、古網、赤石、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津）における水揚量は 405 トンであった。操業がなかった赤石を除く 1 漁場当たり水揚量 40.6 トンは前年 87.2 トンの 46.6%、平年値（昭和 57～平成 17 年平均値）52.1 トンの 77.9% であった。

魚種別にみると、マアジ 92.3 トン（A：前年同月比 46%、B：平年同月比 56%）カタクチイワシ 78.1 トン（A：2.8 倍、B：2.8 倍）イナダ 34.5 トン（A：前年は 0、B：46.8 倍）サバ類 22.8 トン（A：8%、B：52%）サワラ 13.6 トン（A：1.9 倍、B：1.7 倍）の順に多かった。

マアジは川奈を中心に入網し、尾叉長のモードは 20cm と 23cm にみられ 1 歳魚と 2 歳魚が中心であった。カタクチイワシは北川を中心に入網し、被鱗体長のモードは 11.5cm であった。イナダはほとんどが北川に入網し、尾叉長のモードは 44cm であった。4月の 1982 年以降のイナダの水揚量としてはこれまで最高の 5.5 トンを大きく上回る記録的な量であった。サバ類はマサバの割合が多く、マサバは川奈、北川を中心に、ゴマサバは北川を中心に入網した。マサバの尾叉長のモードは 32～33cm にみられ、ゴマサバの尾叉長のモードは 30cm にみられた。サワラは川奈を中心に入網し、尾叉長のモードは 75cm にみられた。

漁場別水揚量は、北川(103 トン：カタクチイワシ、イナダ中心)、川奈(76 トン：マアジ、カタクチイワシ、サワラ中心)、富戸(32 トン：カタクチイワシ、マアジ中心)の順であった。

[サバたもすくい棒受網]

小川港にはたもすくい、棒受網によってマサバが45.8トン、ゴマサバが554トン水揚げされた。棒受網の漁場は三宅島近海に、たもすくいの漁場は、下旬前半までは三宅島近海に、下旬後半には利島近海に形成された。三宅島近海では、尾叉長26～30cmのゴマサバを主体に、尾叉長30～33cmのマサバが混獲された。また、利島近海では尾叉長30～33cmのマサバと尾叉長26～29cmのゴマサバが混獲された。1kg当たりの平均単価はマサバでは187円、ゴマサバでは68円であった。

小川港 サバ類(たもすくい・棒受網漁業)水揚量

期 間	水揚量(ト)	日数	延隻数	1隻当り(ト)	漁 場
平成18年 上旬	150	4	8	18.8	三宅
4月 中旬	227	3	7	32.4	三宅
下旬	223	3	8	27.8	三宅、利島
計	600	10	23	26.1	- - - - -
平成17年4月	631	10	21	12.8	新島、高瀬、三宅
平成16年4月	1,051	11	42	25.0	三宅、高瀬、銭洲

[シラス船曳網]

1日1か統当りの水揚量は、駿河湾で99kg、遠州灘で154kgだった。主要6港平均では129kgと前年同期の34%、平年同期(過去5か年平均:309kg)の42%と、平年を下回った。4月の総水揚量は157.7トンと、前年同期の16.1%、平年同期(604.9トン)の26.1%と、平年を大きく下回った。平均単価は962円/kgと平年同期(768円/kg)を上回った。

シラス水揚量(主要6港)

漁 港	水揚量(ト)	日数	延統数	平均漁獲量(kg/統・日)	平均単価(円/kg)
新 居	13.0	11	81	161	624
舞 阪	38.4	10	196	196	855
福 田	32.5	12	249	130	855
御前崎	19.7	13	148	133	1,403
吉 田	34.3	14	339	101	1,043
静 岡	19.8	10	210	94	987
平成18年4月計	157.7	-	1,223	129	962
平成17年4月計	982.5	-	2,554	385	781
平成16年4月計	433.7	-	1,707	254	654

[まき網]

小川港ではマイワシの水揚げが0.4トンあり、平年同期(過去5か年平均:94.4トン)の0.4%、沼津港ではマイワシの水揚げが0.6トンあり、平年同期(179.7トン)の0.3%と極めて低調であった。

静浦港ではマイワシの水揚げが1.5トンあり、伊東港では、マイワシの水揚げはなかったが、カタクチイワシの水揚げが95.1トンあった。

[サクラエビ船曳網]

4月は9日出漁し、水揚量は395トンと前年同月を下回った。漁場は主に蒲原～沼津沖に形成され、水揚げされたサクラエビは、体長36～37mmにモードを持つ当歳エビが主体であった。

サクラエビ水揚量

期 間	水揚量(ト)	日数	1日1か統当り(kg)	漁 場
平成18年4月 上旬	148	3	平均 822	蒲原沖
中旬	121	3	平均 673	蒲原～富士川沖
下旬	126	3	平均 703	蒲原～沼津沖
平成18年4月 計	395	9	平均 732	-
平成17年4月 計	489	9	平均 905	由比～田子の浦沖
平成16年4月 計	572	9	平均 1,060	三保～田子の浦沖

[調査船の動向]

富 士 丸

4月7日～4月26日 近海鯉及びピンナガ調査(4月8,9日を除く18日間)

駿 河 丸

4月5日～4月7日 地先定線観測(駿河湾・遠州灘)(3日間)

4月10日 公共用水域水質調査(1日間)

4月13日～4月14日 サバ調査(三宅島周辺)(2日間)

4月17日～4月18日 トラフグ調査(2日間)

4月19日 深層水調査(1日間)

4月25日～4月26日 マダイ稚魚調査(2日間)